

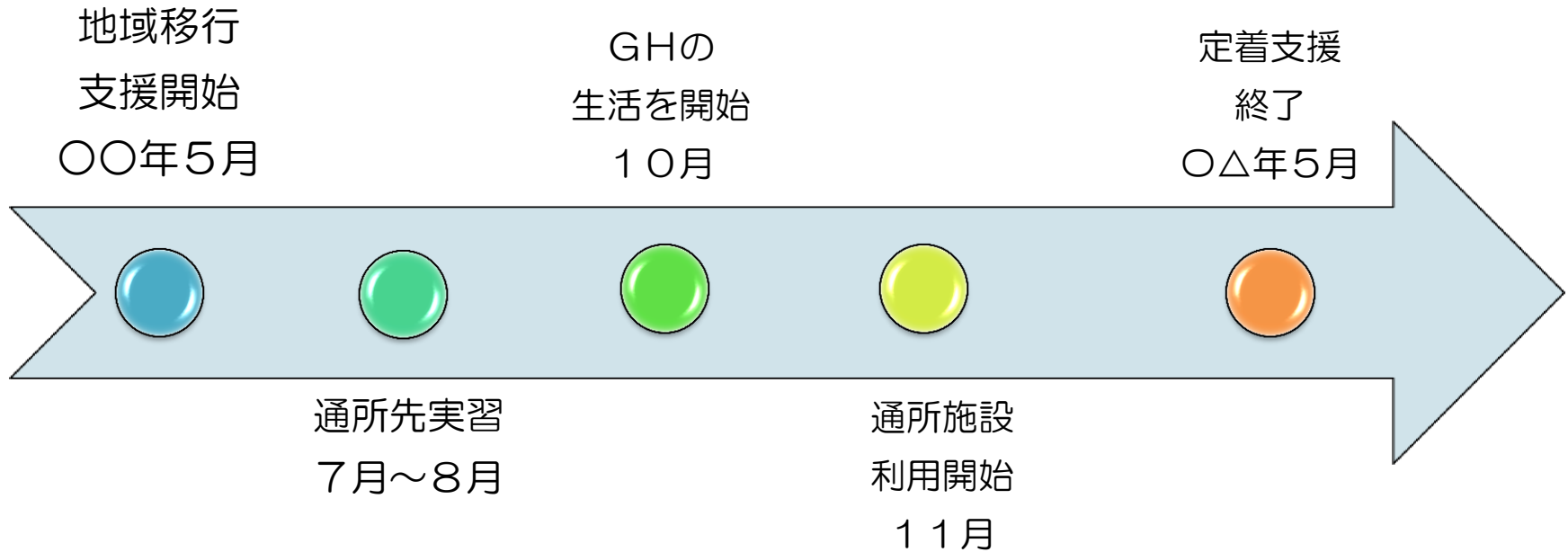
平成26年度 第1回 川崎市地域自立支援協議会連絡会議

地域で暮らすまでとそれからを支える
～当事者・支援者による報告～

報告者

みやまえ基幹相談支援センター 野原

地域移行支援のタイムライン



地域の暮らしに向けて

本人はどんな人ですか？

- 長期間の入所生活の影響
- 障害特性から

どのように 支援していくか？

- 支援をスタートする際にどのような配慮をしたか？
- 本人の希望（ニーズ）をどのように確認していくか？

地域移行支援経過（主な支援）

地域移行前

- ○○年5月より支援開始
- 地域移行へのニーズ確認
本人・後見人と打ち合わせ
- 通所先選定、見学実習
（2ヶ所実習）
- 眼鏡作成
- 再判定・聴力判定
（更相）

地域移行後

- ○○年10月GHへ移行
※日中は暫定的に入所施設を利用
- ○○年11月通所開始
- 補聴器作成
- 各種同行支援
- サービス利用調整
モニタリング

支援会議には、本人と後見人も同席

地域移行支援で関与した支援機関

地域移行前

- 入所施設
- 区役所障害担当
- 相談支援
- * * * * *
- 実習先通所施設
- グループホーム
- 医療機関
- 2次機関

地域移行後(定着支援)

- 通所施設
- グループホーム
- 入所施設
(フォローアップ)
- 移動支援事業所
- 区役所障害担当
- 医療機関
- 相談支援
- 2次機関

通所施設実習

本人の様子

- 提供された授産課題をやり通せた！（自信）
- 実習先で評価されることで前向きな気持ち
- 自分の事を職員や他利用者に知ってほしいという気持ち
- 通所することの楽しい気持ち

支援内容

- 配慮した事
- 見えてきた事
- 通所希望先の確認

グループホームの生活にむけて

本人の様子

- 自分の部屋があるといううれしさ
- 生活の仕方が変化したことでの戸惑い

支援内容

- 配慮した事
- ホーム生活の希望を確認

地域の暮らしになってから

本人の気持ち

- 受け身の生活から自発的な生活に変化
- 楽しみの拡大

支援内容

- 見えてきた事
- 配慮した事

支援を振り返って

- 持っている力 と 身につけていく力
- 相談支援の役割
- ご本人の今の気持ち
- 成年後見人から

ご静聴 ありがとうございました。